

基本目標		
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する	
重点施策		
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する	担当課(館)
	① 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信	歴史文化課
	<p>活動内容</p> <p>大館の歴史や自然及び文化財等について関心を高めてもらうため、企画展を開催し、ホームページやフェイスブック、ツイッター等をツールとして、リアルタイムに情報発信していく。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>新型コロナウイルス感染の第7波が令和4年7月から9月にかけて発生し、人々の移動制限が続く中、郷土博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどをお知らせするホームページの更新や、ツイッター、フェイスブックなどを積極的に活用し、情報発信を行った。</p> <p>イベントについては、6月25日~26日の「文化財庭園フォーラム」や、8月28日、令和5年1月28日、29日の「第9回全国風穴サミットin大館」が県内外からの参加を図るため、開催案内と参加についてホームページや新聞等で情報発信した。また、長走風穴館のYouTube動画やニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信した。</p> <p>郷土博物館の企画展は、郷土の画家の作品展を開催し、市内外から多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。</p>	
	<p>課題等</p> <p>新型コロナの感染者数が徐々に減少し、人々の移動が戻ってきており、各施設への見学の機会を増やすため情報や企画展について、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等のSNSにより幅広くPRし、タイムリーな情報発信に努める。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>「文化財庭園フォーラム」、「第9回全国風穴サミットin大館」など全国規模の開催があり、関心を高めてもらういい機会であり大変よかった。</p> <p>風穴館やニホンザリガニの動画をYouTubeで配信したことは、事業の周知にもなるため、見てくれる方たちにとっては興味深いものになると思うので、更に進めてほしい。</p>	

基本目標		
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する	
重点施策		
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する	担当課(館)
	② 学術的講座等の開催	歴史文化課
	<p>活動内容</p> <p>北鹿地域の文化財や自然、歴史などについて、関係市町村と連携して学術的講座を開催する。また大館郷土博物館において、発明クラブやわくわくサイエンス、出前講座などを関係団体と連携して、ニーズに合わせた学びの機会を提供していく。</p>	
	<p>点検評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </p> <p>出前講座は3回実施し、子ども科学教室「わくわくサイエンス」は、定員数を抑え感染症対策を施し、予定を上回る10回を実施した。博物館講座等は、新型コロナウイルスの第7波の影響により、開催することができなかった。</p> <p>一方で当市が他団体を後援して、「第9回全国風穴サミットin大館」を、8月28日(プレ企画)、令和5年1月28日、29日に市内で開催することができた。本サミットでは専門家の方々による講演や片山温風穴の現地見学会などを通じて、風穴の魅力について学習や情報交換を図り、参加者の交流を深めることができ、大館市の風穴を全国にPRすることができた。</p> <p>特別展・イベント等は、「昭和・平成ロマン派 日本画展」や「おひなさま展」など、4回開催した。</p>	
	<p>課題等</p> <p>北鹿地域の市町村が連携して取り組む博物館講座等を、日程を調整して準備し開催していきたい。その際は、以前好評だったオンラインでの視聴も検討していく。</p> <p>市民を対象にした文化財や歴史・自然などの各種講座について情報発信し、学びの機会を提供していきたい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
	<p>学識経験者等意見</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類へ変更になることで、人の動きが活発になってくる。関係市町村と連携し、北秋田市→大館市→鹿角市と人の流れができるようにPRをしてほしい。</p> <p>子ども科学教室「わくわくサイエンス」など、子どもを対象にした講座は素晴らしい。親子で学べる企画はとても良いと思う。</p>	

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課(館)
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存や継承、公開の機会を支援する。また、市内に存在する文化財の公開や保護の活動をしている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、さくら祭りやきりたんぼまつり、アメッコ市などのイベントで、獅子踊りなどの郷土芸能を市民に披露する機会を得た。 大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会は、10月8日から10日までの3日間、中央公民館で開催した。今回は第50回目で、「江戸の絵図と史料で見る城下町大館」と題して、絵図など100枚を超える史料や個人が所有する刀剣などを展示し、市民の関心を高めることができた。また、伝統文化親子教室での伝統芸能の体験発表も行うことができた。
課題等	大館市郷土芸能保存協会は、高齢化や後継者不足などにより、活動を継続することが難しい状況が続いている。 地域の郷土芸能を継承するため、小中学校等での活動の支援を継続していく必要がある。また、郷土芸能の記録保存について検討する段階にあると思われる。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会などは、いろいろな場所で開催をし、市民に関心を持ってほしい。 高齢化や後継者不足などにより、活動を継続することが難しい状況である郷土芸能については、状況の厳しさは理解できるが、どうにか支援をしてほしい。郷土芸能の記録保存は難しいと思うが、丁寧に保存をし、後世に伝えてほしい。

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖
	歴史文化課
活動内容	天然記念物「ザリガニ生息地」の再生を目指す増殖事業が今年度で6年目を迎える。ニホンザリガニの増殖技術が更に向上するよう、関係者との連携を図り情報交換をしていく。第1人工生息地における定着状況や生息環境について丁寧にモニタリングをしていく。また第2人工生息地を今年度から3か年で整備していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>天然記念物を保存する気運を醸成するため、大館郷土博物館と男鹿水族館での飼育展示を継続し、教育普及に努めた。</p> <p>令和元年度にニホンザリガニの第1人工生息地を創出後、モニタリング調査を継続しており、令和4年度も30匹前後の生息が確認された。また、柵の周囲に植え込んだ草木が繁茂して日陰を作るなど、生息環境として整ってきていると考えられる。</p> <p>令和4年度から6年度までの3か年で第2人工生息地の造成工事を計画し、本年度分の工事は11月末に完成した。</p>
課題等	<p>第1人工生息地でニホンザリガニの生育を確認しているものの水槽飼育による増殖技術がまだ確立されていないため、専門家の助言や協力を得ながら引き続き研究していく。</p> <p>第1人工生息地は、植生の繁茂や水路の状況を適宜観察することにより、ザリガニが安定して生息できるよう環境を整えていく必要がある。</p> <p>また、第2人工生息地の整備については、令和5年度が2年目に入る。令和4年度に造成した箇所との接続がスムーズに行われるように監理していく。</p>
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	長期計画で大変な事業であるが、ニホンザリガニの安定生息地となる成功に向けて頑張ってもらいたい。ぜひとも形になるよう期待している。

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	大館城跡である旧市役所庁舎敷地の発掘調査を行い、調査記録及び出土品について整理・記録・保存を行っていく。また市内の官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査及び試掘・確認調査を相手方の理解を得て、連携して適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 新庁舎建設事業に伴う令和4年度の発掘調査は、5月から12月にかけて、主に旧庁舎建物と駐車場跡地で実施した。本発掘でかつての外堀跡や柱穴、井戸などが確認されたほか、陶磁器や木簡などの遺物も出土した。 また、出土品の整理・記録・保存を行った。 10月29日に大館城跡発掘調査現地説明会を開催し、こうした調査の成果を報告した。説明会には市民60人が参加し、今後の成果にも期待が寄せられた。 官民の開発事業に伴う調査は、県営圃場整備事業や個人住宅建設に関わる5件を実施した。
課題等	大館城跡の内、旧庁舎跡地の発掘作業は、令和5年度で終了する。 発掘作業を進めるにあたり、必要に応じて関係部局と協議を重ねながら進めていく。また、発掘調査報告書刊行に向けて、調査記録や出土品の整理・記録・保存を確実・丁寧に実施していく。 大館城は歴史的に興味深い箇所であり、発掘調査の成果について資料展示会の開催などにより、適宜情報発信し、市民の関心を高めていきたい。 市内の開発事業等に伴う発掘調査についても、理解を得ながら進めていく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	旧庁舎跡地を発掘しているが、市民の中には柵の中で何をしているのかわからない人もいるようだ。柵に歩道から見えるように「発掘調査中」などのお知らせを表示し、市民への理解を深めてもらいたい。

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組み
	歴史文化課
活動内容	文化庁の名勝調査事業として、4年をかけて国の名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指している。今年度は最終年度で、これまでの調査結果、調査委員会の意見を反映させた報告書を作成する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>令和4年6月26日に名勝地調査委員会を鳥潟会館で開催し、令和3年度までに行った庭園の毎木調査や、鳥潟家に関わる文献の調査を反映した報告書の最終版について、名勝指定を目指す上での内容確認と指示をいただいた。その後、委員の方々からの支持を反映し、3月末に報告書を完成させた。また、6月25日、26日には、「文化財庭園フォーラム」が鳥潟会館庭園とほくしか鹿鳴ホールにおいて開催された。</p> <p>25日は、鳥潟会館庭園において全国から集まった一流の庭師たちによる剪定技術の見学会を行った。</p> <p>26日は、ほくしか鹿鳴ホールにおいて鳥潟会館庭園の文化的価値や特徴についてシンポジウムを行い、同庭園の名勝指定に向けて市民の関心を高めることができた。</p>
課題等	名勝地調査事業は令和4年度で終了した。 完成した鳥潟会館庭園名勝地調査報告書を基に、名勝指定を目指し、県と連携して文化庁に申請していく。 なお、文化庁の文化財部門が京都に移転することから、審議スケジュールを確認して手続きを進めていく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	「文化財庭園フォーラム」での一流の庭師たちによる剪定技術の見学会や鳥潟会館庭園の文化的価値や特徴についてシンポジウムを開催し、市民の関心も高まっている。同庭園の名勝指定に向けて頑張してほしい。

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
	担当課(館)
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援
	歴史文化課
活動内容	<p>「文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は5年目を迎える。各種事業が計画的に推進できるよう積極的に支援していく。</p> <p>昨年度に続き、ヘリテージマネージャーの育成事業としてスキルアップ講座やフィールドワーク、そして大館神明社例祭余興奉納行事のPR動画DVD制作事業が予定されており、関係課とも連携して取り組んでいく。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会が計画していた大館神明社例祭余興奉納PR動画及び大館囃子奉納の踊りDVDを作成し、後世への継承及び普及啓発を行い情報発信を行った。また、大館囃子の後継者を育成するための講習会を15回開催し、延べ117人が参加し、伝承することができた。</p> <p>ヘリテージマネージャー育成事業については、東京から講師を招いてスキルアップ講習を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ中止した。</p> <p>これらの事業は、実施団体と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議して進めることができた。</p>
課題等	<p>歴史まちづくり事業の中でソフト事業を推進し、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用などについて取り組んできたが、伝統芸能組織の後継者不足などにより、本委員会への新規加入がなかった。</p> <p>文化庁の補助を受けて実施してきた地域文化財総合活用推進事業は令和4年度で5年間の実施期間を終了し、令和5年度は総括評価を行うこととなっているため、これまでの事業の成果や課題をまとめていく。</p> <p>今後も伝統芸能の継承と維持保存に向けて、関係団体と取り組んでいく必要がある。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等意見	<p>後継者を育成するのは大変なことである。いつか花が咲くよう、地道に頑張ってほしい。</p> <p>大館囃子を踊ってみたいという子どももいるので、ぜひ、後継者の育成につなげていってほしい。</p>